

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：スターチャイルド《三ツ沢上町ナーサリー》	種別：児童分野 認可保育所	
代表者氏名：施設長 坂巻静子	定員（利用人数）： 63 名	
所在地：横浜市神奈川区三ツ沢上町3-6		
TEL：045-317-7020	ホームページ：http://www.starchild.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2018年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員 5名
専門職員	施設長：1名	保育士：15名
	栄養士：1名	調理員：2名
	事務員：1名	
施設・設備の概要	（居室数）：保育室3室	（設備等）：園庭、調理室、調乳室、沐浴室、乳児トイレ、幼児トイレ、多機能トイレ、事務室兼医務室、など

③理念・基本方針

【保育理念】わたしたちは、子どもの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践します。

【保育目標・方針】

- (1) 良く考え、心身ともにたくましい子（自立と挑戦を支援します）
- (2) 個性豊かな子（個性を尊重し長所を伸ばします）
- (3) やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身につけます）

④施設・事業所の特徴的な取組

園のすぐ裏手にせせらぎ緑道があり、近隣に三ツ沢公園や富顕寺市民の森など緑豊かな環境です。

園は、「ちいさなまち」をテーマに設計されていて、トンネルや廊下にセンターラインを引いた道を通してフロアを周遊できます。玄関の靴箱の上に貸出絵本が置かれ、壁には「新しく仲間入りした本」を掲示して子どもと保護者に知らせています。保育室の空きスペースに手作りのシェルターを作り、一人になれる場所を用意しています。

- ・子どもが主体となって展開する保育を目指し、保育環境の構築を目指しています。
- ・養護と教育を一体的に展開していくこと、子どもたちが安心して元気な毎日を過ごす場を提供していくことを目指しています。
- ・肯定形による前向きな言葉がけをしています。
- ・豊かな感情表現とスキンシップを心掛け大切にしています。
- ・英語教室は、外国人講師と他国の言葉や文化に触れ、体操教室は身体能力を高める活

動を行っています。

- ・法人のプライバシーマーク取得に伴い「プライバシーマークガイドライン」を学び、職員全員が「教育確認テスト」を行い、個人情報認識するよう取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年5月7日（契約日） ～ 2021年1月20日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆子どもの自主性を育てる保育を実践しています

子どもが何をして遊びたいのか、希望や意見を聞いて遊ぶ場所や遊ぶことを決めていきます。散歩で行く公園を子どもたちが決めたり、当番活動の「帰りの会」で今日の活動で楽しかった事を発表したりするなど、子どもたちが自分の意見を発言できる機会を作っています。また、保育士は子どもの様子を見て、やりたいことを探り、子どもが自分で考えて行動できるよう環境を整えています。訪問時も課題に取り組む際に、子どもが自分で考え、工夫して行うことを促す声掛けをして、その結果をみて、本人の努力や頑張りを認める言葉をかけていました。園は、子どもの希望や意見を引き出して、子どもの自主性を育てる保育を行っています。

◆一人ひとりの子どもの姿を丁寧にみて寄り添う保育をしています

保育士はカリキュラム会議などで他の職員の園児の姿の見方や接し方を話し合い、同じ対応ができるよう努めています。一人ひとりの子どもの発達に応じて、日々様子を観察し、子どもの状況を把握し、担任だけでなく他の職員も情報を共有して、子どもたちの成長を園全体で見守るようにしています。基本的な生活習慣の取得の際も、個人差を考慮して丁寧な個別の対応をしています。常に子どもの視点に立つことを心掛け、要求を受け止めながら、子どもが自発性を発揮できるよう提案するなどの働きかけをしています。職員は、子どもに分かりやすい言葉で穏やかに話しかけ、見守っています。このような環境の中で子どもたちはのびのびと活動しています。

◆信頼関係の構築に努めています

施設長は、園運営を「こうありたい」という希望に近づけようと努め、日頃から『信頼関係を築くことが大切』であると職員に伝えていきます。信頼関係は、子どもたち、保護者そして職員間でも大切にしたいと考え、思いを発信しています。会議などでは、事例をあげ、考え方を具体的に伝えるよう取り組んでいます。このような姿勢や考え方が職員にも浸透し、日々のコミュニケーションが図られています。

◇改善を求められる点

◆園の存在をアピールして地域子育て支援プログラムへの参加を促す工夫が望まれます

例年、園は、地域の福祉ニーズに応えるべく、地域子育て支援プログラムとして一時保育、育児講座、交流保育、園庭開放を企画しました。昨年度は、一時保育の利用者はいましたが、残念ながら他の企画は参加者が少なく、具体的に実施できていません。今年度はコロナ禍でもあり、実施は見送られました。今後は、地域交流を各方面に働きかけ、積極的に情報を発信し、園の存在をアピールして地域に浸透し、交流の活性化を図るなど、参加者が増える工夫をすることが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回私たちスターチャイルド《三ツ沢上町ナーサリー》は、横浜市認可保育所として保育の方向性・質、職員の体制・質、また認可保育所としての責務を果たしているか。開園三年目を迎え軌道に乗りはじめた今、評価・見直しのファーストチャンスだと考え、受審を依頼いたしました。

この評価を受けることにより、職員の意識、方向性の再確認ができ、大変良い機会となりました。共有すべき事柄や、この機会がなければ埋もれてしまったかもしれない事柄等々、話し合いを通じて共有できましたことは今後の保育の中で生かしてまいります。

評価員の方々には、当園の保育・運営面をいろいろな角度から暖かく、厳しく見ていただきました。今回評価いただいた項目のなかで改善や修正が必要な個所や貴重なご意見は、全職員で対策に取り組みよりよい保育を目指してまいります。

保護者の皆さまには、開園からスターチャイルドの保育・運営を理解し、暖かく見守っていただきましたこと、感謝申し上げます。また、お忙しい中アンケートに御協力もいただき誠にありがとうございました。みなさまのそれぞれの思いに答えられるよう、子どもたちの最善の利益を追い求めながら、努めてまいります。

子どもを取り巻く環境やライフスタイルの大きな変容、かつては子どもたちに与えられていた仕事や手伝いの減少、共同体の行事への参加の減少・・・と生活の中で自ら育てていくのが子どもであった頃と比べると、育ちにくくなったのが現代の子どもの生活であります。保育所は基礎力・人間力を育て、さらには知性・行動力を子どもが身に付けられるよう環境を整え、丁寧な保育を心がけ、社会に適應できる力（非認知的能力）を高めていくことを使命と考えていかねばなりません。

スターチャイルドの保育理念『子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し伸ばす保育の実践』は、新しい保育所保育指針に通じるものと捉え、さらなる向上を目指します。

末筆になりましたが、今回の受審にあたり、関わったすべての方に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり